

「江南市地域防災計画(案)」に関するパブリックコメントの結果について

意見の募集期間 平成28年1月5日(火)から2月4日(木)まで

意見を提出された方 2名

意見の件数 4件

1 避難所施設の耐震化について

意見の概要	1	避難所に指定された施設の耐震化は進んでいますか。 また、地域ごとに建てられた集会所を耐震改修し、地震などによる大規模災害時に避難所として利用することはできませんか。
市の考え方		避難所については、被害想定を考慮したうえで、江南市地域防災計画のなかで、選定基準に基づき、避難所等を既に選定し、施設にあつては耐震改修も完了しています。 また、避難所など市が選定した施設等が地域内に無い自治会にあつては、一時避難所(屋外を含む)を選定するなどして一旦、自治会単位での集合場所を決めていただいたうえで、避難所まで移動することなどを想定した「地区防災計画」の策定に取り組んでいただきますよう、啓発していきます。

2 防災施設の再配置について

意見の概要	2	市の防災対策強化策のひとつとして、既存の防災施設の再配置を進めることを提案します。 再配置に掛かった費用の一部は、テナントエリアの新設及び文化・スポーツ・行政サービスを一体化することにより捻出することができると思います。
市の考え方		現在の防災施設の特徴や立地条件などを最大限に生かすことができるよう、江南市地域防災計画のなかで整理しています。 災害時には、各施設の持つ防災機能を活用して災害復旧に取り組めます。

3 原子力災害に関する対応について

意見の概要	3	市民が放射能に対する知識を深めることができる活動、啓発運動、情報の共有を図っていますか。
意見の概要	4	原子力防災のために地域組織を構築できないですか。
市の考え方		市としましても災害時に的確な行動をとるためには、平常時から原子力災害等に関する正しい理解を深めることが重要である考え、江南市地域防災計画では市民に対し、正しい知識の普及啓発などについて具体的に示しています。 今後は必要に応じて、各自主防災会などと連携し、原子力災害等に関する協力体制の構築等に取り組んでいきます。